米子市全小学校にボッチャ用具寄贈

医療法人養和会

医療法人養和会（米子市上後藤3丁目）は創立70周年記念事業の一環として、同市内の全小学校23校に東京パラリンピックの正式種目「ボッチャ」の用具一式を寄贈し11日、市役所で贈呈式が行われた。障害の有無にかかわらず楽しめるボッチャの普及で、共生社会の実現を目指す。

広江理事長（左）と石丸会長（中央）からボッチャの説明を受ける伊木市長＝11日、米子市役所

鳥取県では2018年に県ボッチャ協会が設立され、養和会の施設内に事務局を置いて学校や公民館などでの普及活動に力を注いでいる。今回は学校の規模に応じて9校に4セットずつ、14校に2セットずつ計64セットを贈った。

贈呈式では、養和会の広江智理事長が「人権学習や共生社会に結び付きのあるスポーツ。小学校や地域で使ってほしい」と伊木隆司市長に目録を渡した。

伊木市長は養和会職員で、同協会の石丸知会長にボッチャのルールなどの説明を受け、実際に体験。「戦略性があって面白いゲーム。ボッチャを通じて、共生社会への理解を深める一助にしたい」と感謝した。

（渡部ちぐみ）